

春日山原始林保全再生事業の進捗状況について

項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
(1) 照葉樹林の良好な状態での維持(植生保護柵の設置)		・5ヶ所に植生保護柵を設置	・7ヶ所に植生保護柵を設置	・20ヶ所に植生保護柵を設置	・4ヶ所に植生保護柵を設置 ・植生保護柵の巡視・管理				・植生保護柵の巡視・管理の継続		
(2) 照葉樹林の多様性の維持(植生保護柵による後継樹、下層植生等の保全)	・後継樹生育環境調査の実施			・モニタリング調査の実施			・モニタリング調査結果の検証 ・保護柵の設置のあり方の再検討		・モニタリング調査の継続		
(3) 後継樹の育成による文化財としての価値の修復				・後継樹の種子採取 ・後継樹苗木の育成	・後継樹の種子採取	・後継樹育成実施計画(案)の作成			・後継樹苗木の育成継続 ・苗木の育成方策の検討		
								・苗木の修復植栽の実施 ・育成状況のモニタリング調査 ・修復植栽方策の検討			
(4) 外来種ナンキンハゼの侵入の抑制			・外来種侵入状況調査の実施		・ナンキンハゼ駆除マニュアル案の作成 ・ナンキンハゼ駆除の実施				・ナンキンハゼ拡大状況の把握 ・駆除方策の検討 ・駆除の継続		
(5) 常緑針葉樹ナギの拡大の抑制			・ナギ数量調整の試行実験	・ナギの拡大状況把握調査 ・ナギ数量調整の実施					・ナギ拡大状況の把握 ・数量調整方策の検討 ・数量調整の継続		
(6) ナラ枯れの拡大の抑制	・緊急を要する保全事業の実施(ビニール巻き等)		・緊急を要する保全事業の実施(ビニール巻き等)	・ナラ枯れ被害調査の実施	・薬剤樹幹注入の実施	・ナラ枯れ対策実施計画(案)の作成			・ナラ枯れ被害調査の継続 ・望ましい植生遷移の誘導方策の検討		
								・大径木への樹幹注入の実施			
							・Aゾーン樹幹注入(61本)	・Bゾーン樹幹注入(62本)	・Cゾーン樹幹注入(56本)	・Aゾーン樹幹注入 ・Bゾーン樹幹注入 ・樹幹注入の効果検証	
(7) 花山・芳山地区人工林の保全・利活用	・人工林に関する基礎調査の実施		・保全・活用方策の検討	・航空レーザ測量の実施	・檜皮採取実験の実施				・保全・活用計画の検討、保全・利活用の実施		
		・1.06ha、266本	・0.24ha、160本	・0.24ha、152本	・0.83ha、300本	・約1.68ha、約300本(予定)			・檜皮採取実験の継続 ・文化財修復への活用検討	・黒皮の採取開始	
(8) 保全事業を円滑に実施し得る仕組みづくり (9) 多様な主体の参画 (10) 春日山原始林に関する基礎情報のマネジメント			・保全再生事業に関する情報発信			・普及啓発資料作成			・保全再生事業に関する情報発信の継続		
委員会・部会等	・第1回委員会 ・第1回花山・芳山部会	・第2、3回委員会 ・第2回花山・芳山部会	・第4、5回委員会	・第6～9回委員会 ・第3回花山・芳山部会	・第10回委員会 ・ナラ枯れWG(準備会) ・春日山原始林保全計画の策定	・第1、2回後継樹WG ・第1回ナラ枯れWG ・第11回委員会			・委員会・部会等の継続		

